

こっこめ通信 05 2023

「植物の生長を記録する」号

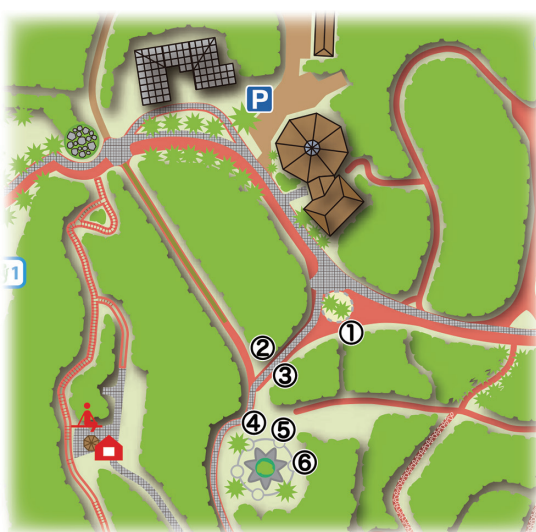


八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

4月、新入学の時期となりました。島では出会いの季節です。新1年生のピカピカのランドセルやおろしたての制服が希望に満ち溢れているようで眩しく感じます。初々しい姿についつい口元もほころびます。

さて、今回は新年度を迎え少しリニューアルした「植物公園季節調査会」と「八丈島の野生のラン」のお話です。

植物公園季節調査会はこちらになります！



< 定点植物（毎回確認する植物） >

①ヤブニッケイ ②タコノキ ③オオタニワタリ
④ニオイウツギ ⑤ニオイバンマツリ ⑥オオシマザクラ

新年度になり、植物公園季節調査会もコースや定点植物（毎回確認する植物）も昨年度行ってきたものとは、少し変更して、より季節や植物の生長が目に見えて感じられるようにしてみました。

今までは3コースを順番に年4回同じコースを通り、移り変わる季節を観察していました。予め決まっているコースだと、その季節の見所を見ることができないコース巡りの時もあり、残念に思うこともありました。

そんな事もあって、今年度の季節調査会はコースを定めず、上の①～⑥までの定点植物を毎回観察し、その後は担当者がコースを決めて園内を巡る事としました。

4月9日に開催した季節調査会は定点植物を観察した後、春を満喫できるコースを巡り、穏やかな日差しの元、和やかな雰囲気で開催することができ、とても楽しかったです。（M.K.）

< 植物公園季節調査会 担当者より一言 >

今まで当たり前のように通り過ぎていたことを、少し立ち止まって観察してみることにしました。

一年を通して形を変えていく植物や生き物、そしてお互いの関係性や生態を少しでも知ることができれば、観察する目も広がって興味が湧いてくるのではと期待しています。

これから毎月調査を行っていく中で変更していくところも出てくると思いますが、参加者と楽しく自然と触れ合いながら進めていくことを一番の目的としていますので、ぜひご参加お待ちしております。（M.O）

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

三原山と植物公園でラン！ラン！ラン！

山ではオオシマザクラの花も散り、サクランボがほんのり赤味を帯びてきました。その後をミズキが追いかけて今が花盛りを迎え、オオバエゴノキが咲き始め、春が駆け足で通り過ぎていくようです。

ここでは4月から5月にかけて見られるランをご紹介します。

公園の中でお手軽に見られるランも掲載するので、芝生や林縁を探してみてくださいね！

☆三原山で出会ったラン



2023年4月20日撮影



2023年4月20日撮影



2023年5月17日撮影



2014年5月14日撮影



2019年4月26日撮影



2013年5月24日撮影

☆植物公園で出会ったラン



2018年4月7日撮影



2013年5月16日撮影



2020年5月29日撮影（桃色）
2022年5月19日撮影（白色）

今回、掲載したランの中にはそろそろ花期が終わってしまうもの、これから見頃を迎えるものなどがあります。ハチジョウネジバナは以前から多数確認されていましたが、最近になって新種発表された種になります。

ラン科植物はよく盗掘の被害にあいます。その美しさゆえに手元に置きたくなってしまう気持ちはわかりますが、山奥でひっそり健気に咲いているから美しいのです。だからこそ、人は心奪われるのだと思います。

どうか皆さん、ひっそり咲いているランはその場所で愛でてください。（M.K.）

八丈植物公園季節調査会の報告

1 ページでも紹介しましたが、今月からは少し内容を変更して実施しています。今回はシダ植物 23 種を含む 102 種の植物を観察しました。暖くなり沢山の花が咲き始めことや、今回から園芸種も数えることにしたため数多く記録することができました。アミガサタケもニョキニョキでていました。(M.O)

八丈植物公園季節調査（2023 年度第 1 回：4 月 9 日実施） 参加者 1 名（担当 VC 沖山・VC 木下）

1	ヤブニッケイ	葉、ヤブニッケイもち病菌（昨年の枯残、今年の約 1 cm）、ニッケイハミャクイボフシ
2	タコノキ	葉、気根の長さ：7.5cm・太さ：8.5cm
3	オオタニワタリ	新芽 28 本・最少丈 19cm、古葉：孢子
4	ニオイウツギ	新葉、蕾、昨年の殻
5	ニオイバンマツリ	紫色の新葉、花（紫：3、白：1）、蕾：沢山
6	オオシマザクラ	葉、青い実、咲き終わりの花、葉はサクラクワガタハバチによる食害
7	アオノクマタケラン	残実
8	アシタバ	花
9	アツバスミレ	花
10	アワゴケ	花
11	イヌビワ	実
12	イワニガナ	花
13	インドゴムノキ	実
14	ウスベニチチコグサ	花
15	ウスベニニガナ	花
16	エノキ	花
17	オオアリドウシ	花・実
18	オオアレチノギク	花
19	オオシマカンズゲ	実
20	オオバコ	花
21	オオマツバウンラン	花
22	オニタビラコ	花
23	オランダミミナグサ	花
24	カスマグサ	花
25	カタバミ	花
26	カラスノエンドウ	花・実
27	キダチチョウセンアサガオ	花
28	キュウリグサ	花
29	キランソウ	花
30	クワ	花
31	クワズイモ	蕾
32	ケキツネノボタン	花
33	コケリンドウ	花
34	コナスビ	花
35	コハコベ	花・実
36	コメツブツメクサ	花
37	サカキカズラ	花
38	シチトウスミレ	花
39	シャリンバイ	蕾
40	シロツメクサ	花
41	シロバナマンテマ	花
42	スズメノエンドウ	花
43	スズメノカタビラ	花
44	スズメノヤリ	花
45	スダジイ	花
46	ストレチア	花
47	タチイヌノフグリ	実・蕾
48	タネツケバナ	花・実
49	チチコグサモドキ	花
50	ツワブキ	実
51	トウバナ	花
52	トキワツユクサ	花
53	トキワハゼ	花
54	トベラ	花
55	ニラバラ	花
56	ノジスミレ	花
57	ハゼノキ	蕾
58	ハチジョウウキブシ	若実
59	ハチジョウテンナンショウ	花
60	ハナイバナ	花
61	ハハコグサ	花
62	ハルジオン	花
63	ヒナギキョウ	花
64	ヒメコウゾ	花
65	ヒメコバンソウ	花
66	ヒメスミレ	花
67	ヒメユズリハ	蕾
68	フウトウカズラ	花
69	フジ	花
70	ムニンケマン	花・実
71	ムラサキカタバミ	花
72	メタセコイア	新葉
73	モンステラ	実
74	ヤエムグラ	花
75	ヤツデ	新芽
76	ヤブツバキ	花・実
77	ヤブヘビイチゴ	花
78	ヤマモモ	実
79	ルリゴクラクチョウカ	花
シダ植物		
1	アラゲヒメワラビ	
2	イシカグマ	
3	ウチワゴケ	
4	オニヤブソテツ	
5	カニクサ	
6	シチトウハナワラビ	
7	スギナ	
8	タチクラマゴケ	
9	タチシノブ	
10	タマシダ	
11	ナチシケシダ	
12	ノキシノブ	
13	ハチジョウカナワラビ	
14	ハチジョウシダ	
15	ハマハナヤスリ	孢子葉
16	ヒトツバ	
17	ヘゴ	新芽
18	ホシダ	
19	ホラシノブ	
20	マツバラ	
21	マメツタ	孢子葉
22	ミゾシダ	
23	レザーファン	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、季節調査会の定点植物にした「ニオイバンマツリ」にスポットを当ててみたいと思います。



ニオイバンマツリ *Brunfelsia australis*

ナス科バンマツリ属、南アメリカ原産。八丈島ではとても人気があり、植えている家庭も多いです。

4 月頃に最初の花が咲き、その後、年に数回花が付きます。花は紫色から白色に変わり、芳香があります。植物公園内でも植栽されています。島では「ジャスミン」と呼ばれています。(H.T.)

2023 5

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります	1	2	3 GW特別行事 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 「特別ガイドウォーク」	4 GW特別行事 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 「特別ガイドウォーク」	5 GW特別行事 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 「特別ガイドウォーク」	立夏 6 ガイドウォーク
7 ガイドウォーク	8	9	10	11	12 月相	13 ガイドウォーク
14 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	15	16	17	18	19	20 月相 ガイドウォーク
小満 21 ガイドウォーク	22	23	24	25	26	27 ガイドウォーク 八文学講座 「大人の潮だまり観察会」
28 月相 ガイドウォーク	29	30	31			

イベントプログラム

GW 特別行事 「バードウォッチング入門」	ゴールデンウィークの特別行事。双眼鏡を使ってアカコッコを初めとする野鳥を観察しよう！ 5/3(水)～5/5(金) (10:00～11:30) 小学生以上(小学生は保護者同伴) ビジターセンター 集合・解散 参加費：無料 定員：10名
GW 特別行事 「体験八丈太鼓」	ゴールデンウィークの特別行事。八丈島の伝統芸能、八丈太鼓を叩いてみませんか？ 思い切り叩けば気分スッキリ。 5/3(水)～5/5(金) (13:30～随時) だれでも ビジターセンター 集合・解散 参加費：無料 定員：なし
GW 特別行事 「特別ガイドウォーク」	ゴールデンウィークの特別行事。普段は午前中に行っているガイドウォークを午後を実施します。 5/3(水)～5/5(金) (14:00～15:00) だれでも ビジターセンター 集合・解散 参加費：無料 定員：10名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を感じましょう！ 5/14(日) (13:30～15:00) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名
八文学講座 「大人の潮だまり観察会」	毎月行っている八文学講座。潮だまりにはどんな生きものがいるのか、いろいろな生きものを探してみましょう。 5/27(土) (13:30～15:00) 中学生以上 現地集合・解散 参加費：50円 定員：10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 5/3から5/5を除く毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2023.5.1 第264号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話: 04996-2-4811 Fax: 04996-2-4888
E-mail: info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」この俳句は江戸時代に作られた初夏の句です。そろそろ島にもホトトギスが渡ってきて、初鯉の季節です。風薫る5月！外に出かけるのが楽しい季節の始まりです。(M.K.)